

京都の職人技が  
異文化の感性に出逢い  
新しい美を放つ

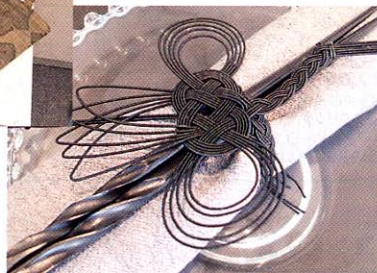
京都の職人技をふんだんに盛り込んだ、珍しい京都風インテリアアイテムの展示会が、11月初旬、代官山にて開かれました。会場には、西陣織りのクッション、テーブルクロス、トートバックや、職人技が光る水引の箸包み、綿ちりめんのタオルなど、

日常生活に「京」を取り入れると、こんなに鮮やかになるの！と驚きを与えてくれる逸品の数々が飾られています。

これは京都商工会議所が中心にな



なれ親しんだ金魚の紋様ですが、クッションになるとまた違う魅力が。京都プレミアムの詳細は [www.kyo.or.jp/premium/](http://www.kyo.or.jp/premium/)



上は西陣織りのトートバッグ。もちろん生活で活用できる強度を持っている。右は、水引を使った箸包み。すごくキレイ！

り、地元伝統産業を支える法人が参加して「京都の美をより生活に」を合言葉に始めた「京都プレミアム」活動の一環なのです。活動は2年目に入り、来年はフランスの国際見本市に出展することのこと。

慣れ親しんだ紋様や生地ですが、クッションやテーブルクロスといった欧米伝来の物にも、実にマッチして、新しい美しさに正直、ちよつと感動しました。これは、京都をもう一度見直さないと！